

今すぐ使える マナーアップアドバイス



電話応対 ～声で心を伝えよう～

みなさんは、電話で話すときの“声”を意識していますか？

電話から伝わる声は、直接耳に届く声とはトーンが違ったり、こもった感じに聞こえてしまうものです。一般的に聞き取りやすい声は、ドレミの音階のソの音だといわれています。

ぜひ、普段よりも1トーン高めの明るい声で話すようにしてみましよう。

しかし、常に明るい声が良いとは限りません。例えば、何かを説明するときやお詫び、お断りをするときは落ち着いた低めの声で話すと効果的といわれています。

自分の声を聞いてみるために、留守番電話に声を録音し、聞くなどして聞き取りやすい声で話せているか、一度確認してみてくださいはいかがでしょうか？